



区政につなぐ

未来につなぐ

世界につなぐ

みや

もと

しん

いち

宮本伸一

公明党文京総支部青年部長／第3支部副支部長

頼れる即戦力

2019年
3月号

発行責任者：宮本伸一 〒112-0012 文京区大塚5丁目36番12号



谷合正明

参議院議員

国政・都政との連携による実現力はほかにない強み



宮本伸一

文京総支部青年部長

高齢者に優しい“親孝行”のような区政を



成澤廣修

文京区長

子育て現役世代の気づきが文京を変える

谷合 宮本伸一さんと私は同級生で、中高の6年間、一緒にいました。

このような対談の場を設けることができ、うれしく思います。

成澤 私が谷合参院議員と最初にお会いしたのは、超党派によるイクメン議連でしたね。

宮本 成澤区長は、地方自治体の首長で育休を取られた第一号でした。

成澤 当時は賛否両論ありましたが、その後、多くの自治体で首長が育休を取るようになりました。また、文京区では区長・副区長の出産・育児・介護休暇を制度化しました。

液体ミルクの備蓄は公明党の推進で実現へ

成澤 宮本さんは小学生になるお二人のお子さんをおもちですね。ご自身が子育て現役世代で、しかも忙しくお仕事をされてきましたので、そうした経験からの「気づき」は非常に重要です。「お母さん中心の子育て」だった世代とは異なる視点からの意見が、区政を変えると思います。

谷合 しかも公明党の区議会議員には、都議会議員や国会議員との緊密なネットワークがあります。その「実現力」は、ほかにない強みです。

成澤 文京区では全国に先駆けて、妊産婦と乳児の救護所に液体ミルクを備蓄することになりました。これも、公明党の国會議員と文京区議団が一体となって取り組んでくださったたまものです。

高齢者同士が支え合う循環を

成澤 私は、これまでマニフェストのテーマを「子どもたちと高齢者への応援歌」とし

ています。地域の宝物である子どもたちと、その地域を守り育てて、ここまで発展させてくれた高齢者——この二つの世代への重点的な投資を進めていくことが、文京区版の成長戦略になると想い続けてきました。

宮本 分かりやすいですし、実際に文京区は、子育て世代の人口が年々増加しています。

谷合 団塊世代の方が、すべて後期高齢者になる2025年、そして私たち団塊ジュニア世代が高齢者に入ってくる2040年を、どうやって迎えて、どうやって次世代に渡していくかが大きな課題だと思います。

成澤 その一環として、元気な高齢者が、助けを必要としている高齢者を応援するといった、高齢者間でのサービスの循環が大切になってきます。文京区では、公明党区議団の提案で「シルバーお助け隊」を創設し、今、良い循環ができています。

認知症は全世代が直面する課題

宮本 私の母は60代で認知症を発症しました。当時は認知症への理解が薄く、家族も大変に悩み、苦しました。高齢化の進展に伴って、認知症に不安を抱える高齢者やご家族は、増える一方です。私は、高齢者に優しい「親孝行」のような文京区政を実現したいと念願しています。

谷合 公明党として昨年、100万人への訪問・調査運動を行いましたが、「自分が介護を必要になった時、一番困ることは」との問い合わせ、「経済的な負担」(29.1%)と並んだのが「自分が認知症になった時」

(26.8%)でした。

成澤 認知症は国民病とも言えるほど身近な病気になっています。支える家族も含め、全世代が直面する課題です。宮本さんの経験を、ぜひとも文京区の認知症施策に生かしていただきたいと思います。

世界市民をはぐくむ「世界の文の京」に

谷合 宮本さんは大学時代に留学経験がありましたね。

宮本 フィリピン大学に1年間、留学しました。そのほかにも夏休みなどには、アメリカや東南アジアに出かけていました。そうしたことによって外資系の海運会社に20年間、勤務しました。

成澤 文京区は、区内に大学が多いことから、外国人の方が多く居住されています。さらに現在、東京大学の国際宿舎も建設中です。住民登録をする外国人の数は、毎年、右肩上がりで増えています。

宮本 私は「世界市民をはぐくむ文京」をテーマの一つに掲げています。外国人にとっても、日本人にとっても、文京区に暮らすこと自体が国際感覚を培うことにつじる、「世界の文の京」にしていきたいと思っています。

成澤 宮本さんは現役の子育て世代であり、ビジネスの世界で国際経験も豊かです。そうした経験を生かして、地域を良くする活動に参加していただくことの意味は、とても大きいと思います。私自身も宮本さんから教えていただくことが、たくさんあると思いますので、大変に期待しております。



お気軽にご相談ください

TEL / FAX 03-3942-1439 HP <http://miyamoto-shinichi.net>

E-mail miyamoto.komei@gmail.com

<https://www.facebook.com/miyamoto.shinichi.bunkyo>



@miyamoto-shinichi



Bunkyo KOMEI 2019

公明党 文京総支部ニュース

2019年3月号

発行元：公明党文京総支部 TEL.03-5803-1318(直通) FAX.03-3813-9721 ★e-mail:info@komei-bunkyo.gr.jp ★http://www.komei-bunkyo.gr.jp/

公明党文京区議団

最近の
実績

「教育・子育て」「暮らし」を応援

区政に関する「教育・子育て、暮らし」分野の中から、公明党文京区議団が推進してきた最近の主な実績を紹介します。

- ▶子育て応援メールマガジンの配信を推進
- ▶認可保育所を大幅に増設
- ▶老朽化した区立小中学校の改築・改装を推進
- ▶生徒が乳児と触れ合う「赤ちゃん登校日」を実施
- ▶文京スポーツセンターをリニューアル
- ▶生活の厳しいひとり親家庭などの自宅に食品を届ける「子ども宅食プロジェクト」を推進
- ▶自転車シェアリング事業を実施
- ▶無料公衆無線LAN(Wi-Fi)を区有施設や協力店舗に整備。「B-ぐる」車内でも利用可能に

認可保育所を大幅に増設



文京スポーツセンター

区立小中学校の改築・改装



自転車シェアリング



公明党
文京総支部青年局

区立図書館に無料Wi-Fi設置へ

「文京ボイス・アクション」で訴えた政策が19年度予算案に盛り込まれました!



昨年より区内各地で展開してきた文京VA。写真は、党総支部主催の「成人の日」街頭演説会の際に実施した時の様子(今年の1月14日)

私たちの声が区政に届いた!——。公明党文京総支部青年局は昨年から、区政に関する政策アンケート「BUNKYO Voice Action」(文京VA=ボイス・アクション)を展開してきましたが、その訴えが19年度予算案に反映され、実現の見通し、あるいは前進することになりました。

文京VAで掲げた政策のうち、図書館などへの無料Wi-Fiスポットの拡充については、7月をめどに全区立図書館(10カ所)で実現する予定です。また、コミュニティバス「B-ぐる」の本郷・湯島方面や千石・大塚方面への路線拡充に関しても、実現を検討するため19年度予算案に調査費が盛り込まれました。シェアサイクルポートの増設については、58カ所(2月18日時点)から引き続き80カ所まで増やすことを目標にしています。

文京VAは昨年、青年世代や子育て世帯の区民を対象に、区政に関する意識調査を事前に実施。寄せられた声を基に政策を立案し、区内各地で街頭アンケートを展開してきました。その結果を中間報告として取りまとめ、文京区政での取り組みを提案する要望書を成澤廣修区長に提出し、公明党の区議も議会の関係委員会で実現を訴えていました。



大河ドラマ

お知らせ 「いだてん」主人公

かな くり し ぞう

金栗四三

青春の地・文京区スタンプラリーを開催中です

金栗四三が青春時代を過ごした地、文京区。区は、金栗が走って通学していたと想定されるコース周辺にあるゆかりの地7カ所を選定し、観光アプリを活用し巡るスタンプラリーを開催中です。参加にはアプリ「旅道」をダウンロードしてください。スタンプをすべて集めた方には、金栗四三にまつわるオリジナルグッズをプレゼントしています。期間は5月17日(金)まで。

●スタンプラリーの詳細は[こちらまで](https://www.city.bunkyo.lg.jp/bunka/kanko/event/idaten/sutanpu.html)。